

プレスリリース

2023 年度第 3 四半期 iCONM/CHANGE ニュースレター 発行のお知らせ

報道関係者 各位

平素は大変お世話になっております。

公益財団法人川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター（センター長：片岡一則、所在地：川崎市川崎区殿町、略称：iCONM）は、同センターの活動や報告事項を綴った iCONM ニュースレターを四半期ごとに発行しています。本日、2023 年度第 3 四半期（10 月～12 月）における弊センターの活動をまとめた「iCONM 2023 年度ニュースレター冬号」を 2/1 付で発行しますので、添付させていただきます。ご興味ある内容がございましたら是非お問い合わせください。

本ニュースレターは、以下の構成となっております。

- 挨拶/ 片岡一則センター長
- ハイライトニュース 9 件
 - 広島市立基町高校 iCONM 訪問
 - 市内看護師 iCONM 視察ツアー
 - スペイン・ガリシア州から企業視察団が来所
 - プロジェクト CHANGE リトリート合宿
 - iCONM/CHANGE 市民公開講座「ナノマシン研究の最前線」
 - 片岡センター長が高被引用論文著者として 7 年連続 8 回目の認定
 - プロジェクト CHANGE 第 2 回シンポジウム開催
 - 川崎市立川崎総合科学高校で出前授業
 - 川崎市内で働く看護師さんとのワークショップ
- 発表論文/ 2023 年 10 月～12 月に公開された論文 18 報のリスト
- コラム/ 2023 年 10 月～12 月に公開された論文 5 報のコラム
- 実施済みイベント/ 2023 年 10 月～12 月に実施したセミナー
- イベント予告/ 2024 年 4 月までに実施予定のイベント一覧
- 編集後記/ iCONM イノベーション推進チーム

尚、四半期ごとに発行するニュースレターのバックナンバーは以下のサイトから閲覧可能です。

https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/activities_news_letter.html

公益財団法人川崎市産業振興財団について

産業の空洞化と需要構造の変化に対処する目的で、川崎市の100%出捐により昭和63年に設立されました。市場開拓、研究開発型企業への脱皮、それを支える技術力の養成、人材の育成、市場ニーズの把握等をより高次を実現するため、川崎市産業振興会館の機能を活用し、地域産業情報の交流促進、研究開発機構の創設による技術の高度化と企業交流、研修会等による創造性豊かな人材の育成、展示事業による販路拡大等の事業を推進し、地域経済の活性化に寄与しています。

<https://www.kawasaki-net.ne.jp/>

ナノ医療イノベーションセンターについて

ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) は、キングスカイフロントにおけるライフサイエンス分野の拠点形成の核となる先導的な施設として、川崎市の依頼により、公益財団法人川崎市産業振興財団が、事業者兼提案者として国の施策を活用し、平成27年4月より運営を開始しました。有機合成・微細加工から前臨床試験までの研究開発を一気通貫で行うことが可能な最先端の設備と実験機器を備え、産学官・医工連携によるオープンイノベーションを推進することを目的に設計された、世界でも類を見ない非常にユニークな研究施設です。

<https://iconm.kawasaki-net.ne.jp/>

プロジェクト CHANGE について

文部科学省/JSTによる「令和4年度共創の場形成支援プログラム COI-NEXT」(共創分野・本格型)に川崎市産業振興財団(理事長:三浦 淳、所在地:川崎市幸区、略称:KIIP)が代表機関となり申請し、2022年10月25日に採択が決まったCOI-NEXT川崎拠点のことをプロジェクトCHANGEと呼びます。「医工看共創が先導するレジリエント健康長寿社会」をビジョンに掲げ、少子高齢社会にあって負担が増える医療職種の中でも、これまで工学がほとんど介入してこなかった看護領域に特に着目して看護業務の負担軽減を工学の力で行うとともに、老化に抗う身体を造る術について研究開発を行い社会実装します。さらには、市民のケアコンピテンシー(ケアする力)を高め、誰もが簡便に扱えるケア製品やシステムを開発します。

<https://change.kawasaki-net.ne.jp/>

2024年1月31日